


テクニカルタイムアウトの確認事項について

- ①テクニカルタイムアウトは、給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない（付則1）。
給水が第一優先である。戦術的な指示をするタイムアウトではない。
指示がある場合は、選手の給水が完了後にベンチスタッフが給水場所に移動して指示をする。
選手が給水する場所は、椅子が9脚以上ある時のベンチエンドとする。
会場設定上、椅子が9脚以上無い場合はアップゾーン（壁際）とする。
- ②全日本大会では1、2セット目は7点と14点、3セット目は8点で実施する。
上記①、②はかんぽ生命ドリームカップのブロック予選から適用する。

テクニカルタイムアウトの取扱い

- ①審判の吹笛後、選手は給水場所  に直接帰る。
- ②テクニカルタイムアウト中、選手は椅子のあるゾーンには入らない。
- ③従来通り、テクニカルタイムアウトの時もワイピングをする。
ワイピングをした選手も、ワイピング後に必ず給水する。
- ④エントリー選手が6人の時のワイピングは、ベンチスタッフが必ず行う。
- ⑤テクニカルタイムアウト終了後、選手は給水場所から直接コートに戻る。

